



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社
 コード番号 4112 URL <https://www.hodogaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松本 祐人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 兼経営企画部長 (氏名) 砂田 栄一 TEL 03-5299-8019
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,497	△0.7	472	△23.2	486	△39.1	304	△43.8
2019年3月期第1四半期	8,553	△12.0	615	△52.8	798	△40.4	542	△29.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △219百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 351百万円 (△77.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	38.56	—
2019年3月期第1四半期	68.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	55,389	36,356	60.7
2019年3月期	57,140	36,860	59.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 33,595百万円 2019年3月期 33,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	1.2	2,300	△24.1	2,300	△25.9	1,400	△25.7	177.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	8,413,726株	2019年3月期	8,413,726株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	510,043株	2019年3月期	511,715株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	7,902,845株	2019年3月期1Q	7,901,287株

※ 四半期決算短信は従来より監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における各国経済の動向について見てみますと、米国経済は、良好な雇用環境を背景に、足元の景気は底堅く推移していますが、FRBが予防的利下げを示唆するなど、先行き不透明感の強い状況となっています。欧州経済は、中国の景気減速も受け、ドイツを中心に輸出が低迷し、英国でもEU離脱の混乱が足かせとなり、景気の減速が続きました。中国経済は、減税等の金融・財政政策による景気の下支え効果が表れておらず、インフラ投資の伸びの鈍化や、米中貿易戦争を背景とした輸出の鈍化により、景気は減速傾向となっています。以上のように、先行きの各国経済の不透明感が強まる中、わが国経済については、雇用・所得環境は改善傾向が持続しているものの、輸出や生産の弱さが懸念材料となっており、今後は、米中貿易戦争の激化、対韓輸出規制の影響、中東や南米の地政学的リスク、円高リスクに加え、消費税率の引き上げもあり、厳しい環境を予想せざるを得ない状況といえます。

このような情勢下、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比56百万円減(0.7%減)の8,497百万円になりました。損益面では、売上高の減少等により、営業利益は、前年同期比142百万円減(23.2%減)の472百万円となりました。また、経常利益は、前年同期比312百万円減(39.1%減)の486百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比237百万円減(43.8%減)の304百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

〔機能性色素セグメント〕

色素材料事業は、繊維向け染料の需要が増加しましたが、デジタル家電向けアルミ着色用染料が、需要に対し生産が追いつかず、前年同期並みとなりました。また、有機EL材料事業は、ディスプレイ分野での需要が堅調に推移し、前年同期並みとなりました。一方で、イメージング材料事業は、プリンター向け材料の需要低迷が続いており、大幅な減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比82百万円減(3.2%減)の2,502百万円となりました。

〔機能性樹脂セグメント〕

樹脂材料は、ウレタン原料向けの需要が減少し、減収となりました。また、建築材料事業は、工事では大型案件の獲得により増加しましたが、材料販売が振るわず、前年同期並みとなりました。一方で、特殊化学品事業は、医薬向けの需要などが増加し、大幅な増収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比4百万円増(0.2%増)の2,787百万円となりました。

〔基礎化学品セグメント〕

過酸化水素及び過酸化水素誘導品は、工業向けなどで需要が増加し、増収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比59百万円増(3.6%増)の1,727百万円となりました。

〔アグロサイエンスセグメント〕

ゴルフ場・農耕地向け除草剤や、殺虫剤等で需要が増加し、大幅な増収となりました。一方で、家庭園芸向け除草剤等は、需要が減少し、大幅な減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比22百万円減(2.3%減)の945百万円となりました。

〔物流関連セグメント〕

倉庫保管量や、輸出の取り扱い量の減少により、減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比25百万円減(5.0%減)の491百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末(6月末)における資産合計は、55,389百万円となり、前連結会計年度末(3月末)比1,750百万円の減少となりました。

主な増減要因は、受取手形及び売掛金の減少1,124百万円、現金及び預金の減少907百万円、投資有価証券の減少487百万円、有形・無形固定資産の増加336百万円、商品及び製品の増加502百万円等であります。

負債合計は、19,033百万円となり、前連結会計年度末比1,246百万円の減少となりました。

主な増減要因は、支払手形及び買掛金の減少885百万円、短期・長期借入金の減少369百万円等であります。純資産合計は、36,356百万円となり、前連結会計年度末比504百万円の減少となりました。

主な増減要因は、その他有価証券評価差額金の減少338百万円、為替換算調整勘定の減少148百万円等であります。

以上の結果、自己資本比率は60.7%となり、前連結会計年度末の59.5%から1.2ポイント改善しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、2019年5月14日に発表した数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,559	6,651
受取手形及び売掛金	12,438	11,314
商品及び製品	4,246	4,749
仕掛品	523	442
原材料及び貯蔵品	2,023	2,008
その他	570	621
貸倒引当金	△18	△15
流動資産合計	27,344	25,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,820	5,635
土地	11,975	11,972
その他(純額)	2,982	3,514
有形固定資産合計	20,778	21,122
無形固定資産		
その他	151	144
無形固定資産合計	151	144
投資その他の資産		
投資有価証券	7,331	6,843
長期貸付金	266	263
繰延税金資産	338	331
退職給付に係る資産	400	417
その他	726	690
貸倒引当金	△197	△197
投資その他の資産合計	8,865	8,348
固定資産合計	29,795	29,615
資産合計	57,140	55,389

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,564	4,678
短期借入金	3,514	3,425
未払法人税等	410	193
引当金	490	258
その他	1,783	2,391
流動負債合計	11,763	10,947
固定負債		
長期借入金	5,089	4,808
繰延税金負債	1,458	1,306
再評価に係る繰延税金負債	1,228	1,228
引当金	82	82
退職給付に係る負債	85	88
資産除去債務	80	80
その他	492	490
固定負債合計	8,517	8,086
負債合計	20,280	19,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	8,716	8,715
利益剰余金	9,933	10,040
自己株式	△1,716	△1,710
株主資本合計	28,129	28,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,097	1,759
土地再評価差額金	2,783	2,783
為替換算調整勘定	718	570
退職給付に係る調整累計額	247	240
その他の包括利益累計額合計	5,846	5,353
非支配株主持分	2,883	2,760
純資産合計	36,860	36,356
負債純資産合計	57,140	55,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,553	8,497
売上原価	5,575	5,663
売上総利益	2,978	2,833
販売費及び一般管理費	2,362	2,361
営業利益	615	472
営業外収益		
受取利息	2	3
為替差益	51	—
受取配当金	107	99
固定資産賃貸料	14	15
雑収入	49	63
営業外収益合計	226	182
営業外費用		
支払利息	16	16
為替差損	—	117
環境関連整備費	21	17
雑損失	4	15
営業外費用合計	42	167
経常利益	798	486
特別損失		
固定資産除却損	4	5
投資有価証券評価損	—	25
特別損失合計	4	31
税金等調整前四半期純利益	794	455
法人税等	125	72
四半期純利益	669	383
非支配株主に帰属する四半期純利益	126	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	542	304

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	669	383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234	△338
為替換算調整勘定	△48	△258
退職給付に係る調整額	△34	△6
その他の包括利益合計	△317	△603
四半期包括利益	351	△219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272	△188
非支配株主に係る四半期包括利益	78	△30

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	794	455
減価償却費	329	340
のれん償却額	2	—
引当金の増減額 (△は減少)	△235	△233
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△25	△21
受取利息及び受取配当金	△110	△102
支払利息	16	16
為替差損益 (△は益)	△24	57
有形固定資産除却損	4	5
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	25
売上債権の増減額 (△は増加)	1,296	1,091
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△501	△458
仕入債務の増減額 (△は減少)	△602	△866
その他の資産・負債の増減額	△308	△149
未払消費税等の増減額 (△は減少)	135	39
その他	14	42
小計	786	242
利息及び配当金の受取額	110	100
利息の支払額	△11	△15
法人税等の支払額	△230	△392
営業活動によるキャッシュ・フロー	655	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19	△19
定期預金の払戻による収入	19	19
有形及び無形固定資産の取得による支出	△512	△326
有形固定資産の除却による支出	—	△1
有形及び無形固定資産の売却による収入	3	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の償還による収入	30	—
貸付けによる支出	△10	△7
貸付金の回収による収入	4	6
差入保証金の差入による支出	△2	△1
差入保証金の回収による収入	1	14
その他	△4	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△489	△314

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△335	△369
配当金の支払額	△0	△0
非支配株主への配当金の支払額	△9	△38
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
リース債務の返済による支出	△7	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△352	△414
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△108
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△166	△903
現金及び現金同等物の期首残高	6,583	7,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,416	6,539

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、
税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	2,584	2,783	1,668	968	517	8,521	32	8,553	—	8,553
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	39	33	18	—	351	442	44	487	△487	—
計	2,624	2,816	1,686	968	868	8,964	76	9,041	△487	8,553
セグメント利益	170	35	191	102	116	615	0	616	△0	615

(注1) 各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、
ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体

(3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料

(4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤

(5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
(1)外部顧客に 対する売上高	2,502	2,787	1,727	945	491	8,455	42	8,497	—	8,497
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	41	45	22	—	359	468	21	490	△490	—
計	2,543	2,833	1,750	945	851	8,924	63	8,987	△490	8,497
セグメント利益 又は損失(△)	156	49	110	58	108	483	△12	470	1	472

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、
ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
- (5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。